

## 9. 災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備

(幹事機関: 中部地方環境事務所)

優先的に取り組む連携課題（10 課題）の中間レビューヒアリング結果とりまとめ（H28.3.31 時点。予定含む。）（9/10）

優先的に取り組む 連携課題（幹事機関）	9. 災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備（中部地方環境事務所）
項目	大規模災害時の廃棄物処理のあり方について、以下の各事項に係る情報共有を行うとともに、必要な対応について検討する。
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年 3 月に「大規模災害時の廃棄物処理に関する連絡会」を長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の範囲で発足させ、平成 26 年 10 月に「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」を富山県、石川県、福井県を加えた範囲で発足させることで、行政間・事業者等との情報共有・連携を図っており、さらに、平成 27 年 7 月に上記協議会へ滋賀県を追加した。</li> <li>・協議会において、平成 27 年度中に災害廃棄物中部ブロック広域連携計画 第一版を策定する予定である。</li> </ul>
他の連携機関に対する 連携にあたっての 要望事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害廃棄物の仮置き場の確保が課題であり、港湾地域を活用するなど、連携が必要である。</li> <li>・国土地理院の地図（G I S）を活用した、災害廃棄物処分地等の整理や道路啓開や排水啓開との連携が有効と考えるが、活用方法や整理後の公開の範囲などを明確にして頂きたい。</li> </ul>
課題・懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議体としての協議会は発足したが、発災後の具体的な対応策となる大規模災害廃棄物中部ブロック広域連携計画を充実させるため、継続して検討していく必要がある。</li> </ul>
達成状況の評価	▲

目的の達成状況についての凡例：【○：おおむね達成】【△：継続して実施が必要（目的達成に向けて P D C A や関係機関への展開が引き続き必要なもの）】  
【▲：継続して実施が必要（未着手の課題や新たに生じた課題についての検討が必要なもの）】

# 大規模災害時の廃棄物処理に関する連絡会開催の背景

H7

阪神淡路大震災

H16

集中豪雨・台風

H23

東日本大震災

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議  
【H23.10 事務局：中部地方整備局】

中部圏地震防災基本戦略(中間とりまとめ)H23.12  
優先的に取り組む連携課題①～⑩  
⑨大量の災害廃棄物の発生を想定した広域連携体制の整備

中部圏地震防災基本戦略(最終とりまとめ)H24.11

## 【環境省】

H10震災廃棄物対策指針(旧厚生省)  
→自治体の震災廃棄物処理計画策定を促進

H17水害廃棄物対策指針の策定  
→自治体の水害廃棄物処理計画策定を促進

H23…東日本大震災災害廃棄物処理の対応  
本省：財政支援、法整備、指針策定等  
地方事務所：広域処理の調整等

H24…「災害廃棄物対策指針」の策定検討

大規模災害時の廃棄物処理に関する連絡会  
【H24.3 幹事：中部地方環境事務所】

災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備に係る取りまとめH25.3

南海トラフ巨大地震

## 大規模災害時の廃棄物処理に関する連絡会の概要(H24.3～H26.10)

【目的】大規模災害時の廃棄物処理のあり方に関する情報共有・必要な対応の検討

### 【参加者】

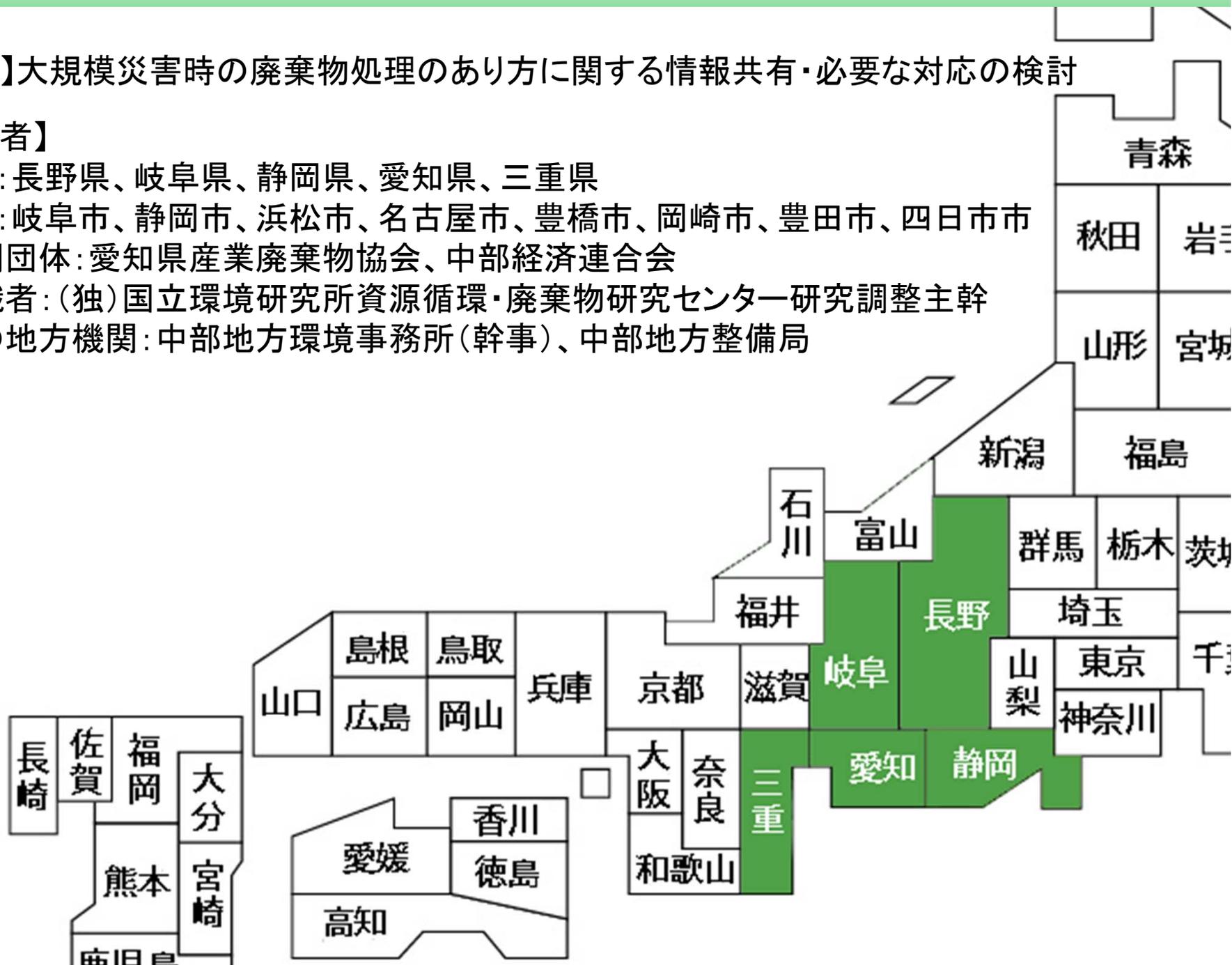
5県:長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

8市:岐阜市、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市、四日市市

民間団体:愛知県産業廃棄物協会、中部経済連合会

有識者:(独)国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター研究調整主幹

国の地方機関:中部地方環境事務所(幹事)、中部地方整備局



## 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会設置の背景

### 大規模災害時の廃棄物処理に関する連絡会

- ・H24.3～H26.3に4回開催
- ・長野、岐阜、静岡、愛知、三重の範囲の自治体、民間団体、国の機関等で構成

### 巨大災害発生時における災害廃棄物対策のグランドデザイン(H26.3中間取りまとめ)

地域単位ごとに国(地方環境事務所及び関係国機関)、都道府県、主要市町村、地元民間事業者団体等で構成される協議の場を設置し、必要となる施設の整備や連携・協力体制の構築に向けた検討を行う。

富山、石川、福井の範囲の自治体、民間団体を追加

### 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会

南海トラフ巨大地震だけでなく、中部ブロックで起きる可能性のある様々な災害を想定

# 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会の設置(H26.10.31)

## 【目的】

- ・災害時の廃棄物対策について情報共有
- ・大規模災害時の廃棄物対策に関する広域連携(県域を越えた連携)について検討

## 【構成員】

9県: 富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県  
滋賀県(H27.7.24に追加)

11市: 富山市、金沢市、長野市、岐阜市、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、  
岡崎市、豊田市、四日市市

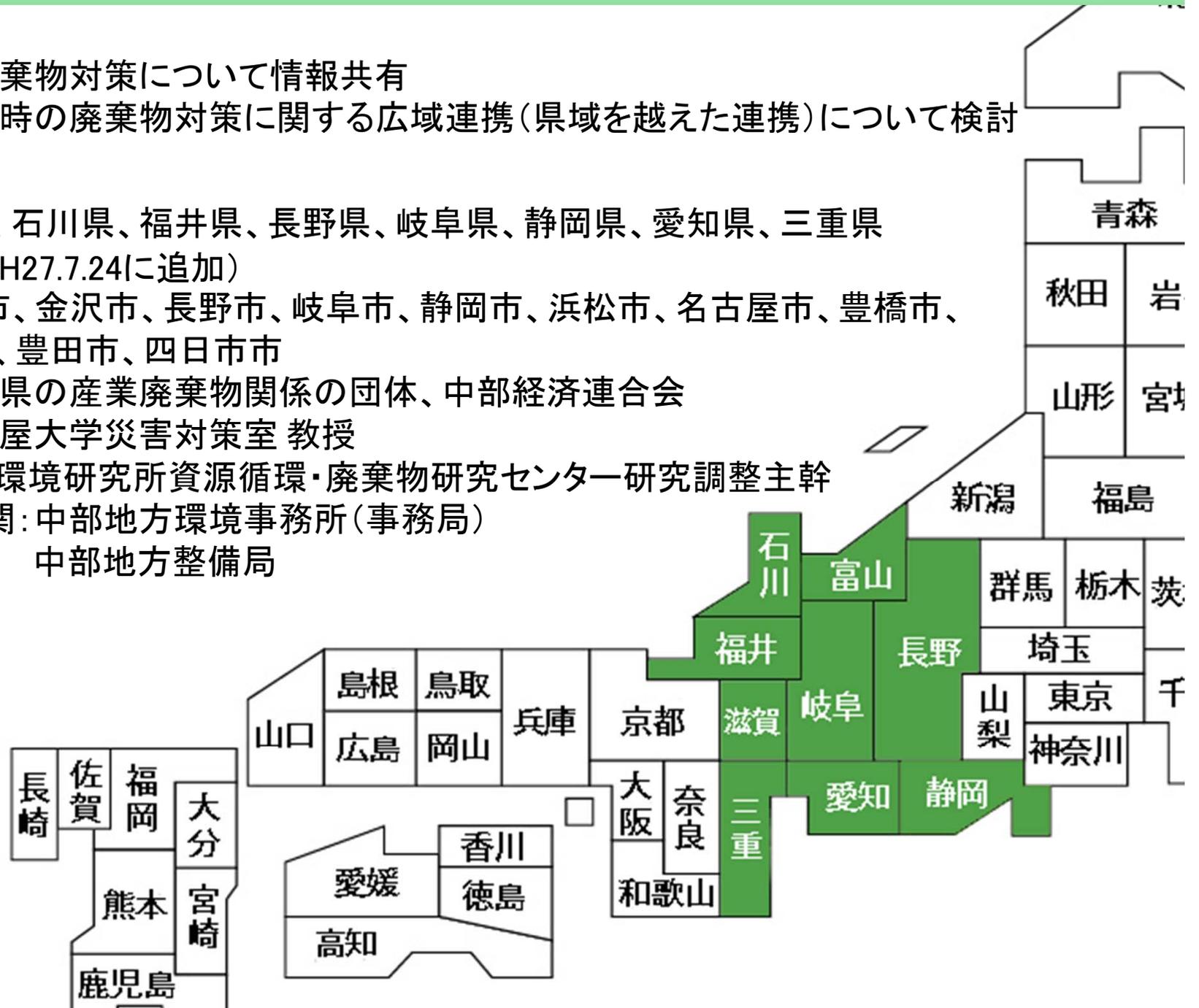
民間団体: 各県の産業廃棄物関係の団体、中部経済連合会

有識者: 名古屋大学災害対策室 教授

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター研究調整主幹

国の地方機関: 中部地方環境事務所(事務局)

中部地方整備局



## 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会の開催(平成27年度)

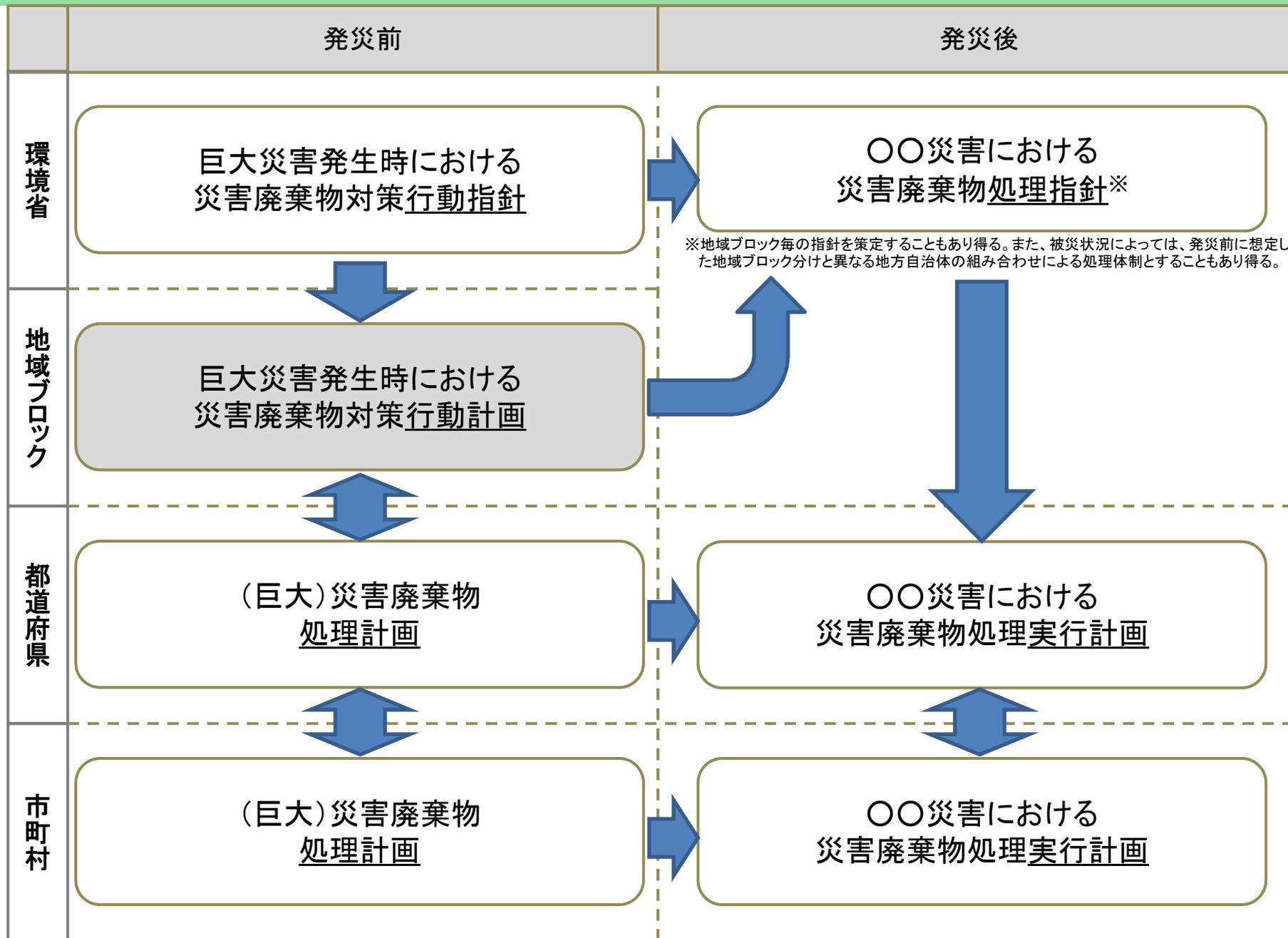
### 【平成27年度の開催実績】

開催日	回	開催地	内容
7月24日	第3回	富山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害廃棄物対策関連の主な国の動きについて</li> <li>■設置要綱の改正について</li> <li>→設置要綱を改正し、滋賀県を追加等</li> </ul>
10月26日	第4回	金沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広域連携計画(仮称)目次案について</li> <li>等</li> </ul>
2月22日	第5回	名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広域連携計画(仮称)第一版案について</li> <li>等</li> </ul>

### 【平成27年度の開催予定】

開催日	回	開催地	内容
3月29日	第6回 (予定)	福井市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害廃棄物中部ブロック広域連携計画 第一版について</li> </ul>

災害時の廃棄物対策に係る計画・指針等関係図  
 「巨大災害発生時の災害廃棄物処理に係る対策スキームについて(H27..2)」より



## セミナーの開催(平成27年度)

平成27年11月に、福井市(9日)、岐阜市(10日)の2箇所で、中部ブロック内の自治体職員を対象に、災害廃棄物処理の実態及び教訓等について把握することを目的としたセミナーを開催した。

内 容	時間	講師
紀伊半島大水害の市町村の対応について	50分	三重県紀宝町
紀伊半島大水害の県の対応について	50分	三重県
紀伊半島大水害の民間事業者の役割	50分	三重県産業廃棄物協会 三重中央開発株式会社
災害廃棄物処理における留意点	50分	国立環境研究所 高田 光康氏

## 平成27年度大規模災害時における処理困難物適正処理モデル事業

### 【目的】

以下のモデル地域において、大規模災害時に処理が困難となる物を円滑かつ適正に処理するための検討を具体的に行い、当該地域を管轄する県、市町村の災害廃棄物対策の立案・検討に資すると共に、中部ブロック及びその他ブロックの参考とする。

### 【モデル地域】

静岡県浜松市、静岡県沼津市、愛知県豊橋市、三重県四日市市

### 【大規模災害時に処理が困難となる物の例】

有害化学物質、アスベスト、石油・ガス等の可燃性物質、農水産業由来の腐敗しやすい物、有機物や有害物を含む津波堆積物、船舶、漁具漁網 等

### 【調査検討の内容】

#### 1) 災害時処理困難物の円滑かつ適正な処理に関するケーススタディー

- ① 発生が想定される災害廃棄物の整理及び災害時処理困難物の抽出
- ② 災害廃棄物及び災害時処理困難物の発生量、発生場所の予測・推計
- ③ 最適な選別・処理技術の検討
- ④ 有効な利活用の検討
- ⑤ 仮置場・最終処分地等の候補の検討
- ⑥ 総合的な検証

等

#### 2) 留意点、課題等の整理

#### 3) 成果の発表等

## 平成28年度の取組予定

- 【協議会の開催】(1～2回)
- 【災害廃棄物中部ブロック広域連携計画(仮称)の継続的な見直し】
- 【セミナーの開催】(1～2回)